

「臨床婦人科産科」第47巻総目次

1993年第1号～第12号

数字は通巻頁数、() 内は号数です。

今月の臨床

流産(1)

<流産の動向>

1. 流産の定義はどうか変わったか……岩崎 寛和… 10
2. 自然流産は増えているか……福岡 秀興… 13
3. IVF と流産率 ……菅沼 信彦・福田 洋行… 16
4. 習慣流産の動向……神崎 秀陽… 18
5. 人工中絶の動向……新家 薫… 20

<流産の病因>

6. 流産児の染色体異常……大濱 紘三… 23
7. 排卵誘発法と染色体異常
奥山 和彦・藤本征一郎… 26
8. 黄体機能と流産
中村 幸雄・安藤 索・吉村 泰典… 29
9. クラミジアと早期流産……松田 静治… 32
10. 頸管感染と後期流産
樋口 誠一・池上 俊哉… 36
11. SLE と流産 ……佐治 文隆・古山 将康
光田 信明・谷澤 修… 38
12. 抗リン脂質抗体と流産
牧野 恒久・小沢 伸晃… 42
13. 子宮筋腫と流産……河上 征治・澤田 富夫… 44
14. 子宮奇形と流産
北尾 学・秦 利之・秦 幸吉… 47
15. 頸管不全症と流産……牧尾 章… 50
16. 習慣流産と免疫……田中 憲一・高桑 好一… 53

<診 断>

17. 最近の診断法の進歩
伊吹 令人・鹿沼 達哉… 56
18. 妊娠時期別診断法—妊娠4～5週
本田 育子… 60
19. 妊娠時期別診断法—妊娠7～8週
赤松 信雄… 62
20. 妊娠時期別診断法—妊娠10週以降
太田 孝夫・村瀬 隆之・高橋 祐子… 65
21. 子宮外妊娠の鑑別診断……箕浦 茂樹… 68
22. 診断のポイント

畑 俊夫・平野 正子・小倉 一仁

田島 秀郎・吉松 春彦・小松崎 哲… 71

23. 流産の子後をどうみるか

加藤 紘・齋藤 剛… 74

<治 療>

24. 治療方針の原則……麻生 武志・阿部 史朗… 76
25. ホルモン療法の効果と限界……伊藤 裕… 80
26. 免疫療法の実際と問題点
前島 正基・藤井 知行・対馬ルリ子
三橋 直樹・桑原 慶紀・武谷 雄二… 82
27. 妊娠中期切迫流産の管理……高木耕一郎… 86
28. 縫縮術のタイミングと術式の選択
戸谷 良造・鈴置 洋三… 88
29. トコリーンスの応用と効果
遠藤 力・佐藤 章… 92
30. 持続腔内洗浄法の適応と効果……末原 則幸… 94
31. 破水流産例への対応
今中 基晴・荻田 幸雄… 96

子宮全摘出術—私のコツ(2)

<腹式単純性子宮全摘出術>

1. 腹式単純性子宮全摘出術
—私の術式……藤井 信吾… 128
2. 尿管損傷の防止対策……玉舎 輝彦… 134
3. 膀胱剝離と腔断端処理のコツ……馬島 秀泰… 138
4. アルドリッジ法(筋膜内法) ……山岡 完司… 141
5. 逆行性基靱帯処理……永田 一郎… 144

<腔式子宮全摘出術>

6. 腔式子宮全摘出術—私の術式……工藤 隆一… 149
7. 腔壁切開と腔腔の開放
北尾 学・岩成 治… 154
8. 基靱帯処理—無結紮処理……伊東 英樹… 156
9. 基靱帯処理—分割処理
武田 佳彦・滝沢 憲… 159
10. 分割法……奈賀 脩… 162

<準広汎性子宮全摘出術>

11. 準広汎性子宮全摘出術—私の術式
山邊 徹… 166

12. 膀胱子宮靱帯の処理……………	荷見 勝彦…	170
13. 基靱帯の切断……………	小澤 満…	172
<広汎性子宮全摘出術>		
14. 広汎性子宮全摘出術—私の術式…	平林 光司…	176
15. リンパ節郭清……………	塚本 直樹…	180
16. 基靱帯処理……………	工藤 尚文…	183
17. 骨盤神経温存法……………	桑原 慶紀…	186
18. 尿管瘻の防止対策		
高村 郁世・針生 秀樹・西谷 巖…		188
19. 尿管剥離と膀胱子宮靱帯処理の		
コツ……………	園田 隆彦…	191

良性卵巢腫瘍—治療方針（3）

<疫学と分類>

1. 卵巢の組織発生—腫瘍の多様性		
理解のために……………	上田 外幸…	238
2. 年代別の好発腫瘍……………	植木 實…	241
3. 臨床病理学的分類……………	薬師寺道明…	244

<診断>

4. 内診でどこまで診断できるか		
半藤 保・大野 正文・黒瀬 高明…		249

<卵巢腫瘍の鑑別>

5. 超音波……………	田中 善章…	252
6. CT スキャン……………	安田 允…	255
7. MRI ……………	山田 隆司・後藤 真樹…	258
8. 内分泌診断……………	斎藤 裕…	262

<良性・悪性の鑑別>

9. 画像診断		
木戸浩一郎・岡井 崇・武谷 雄二…		264

10. 腫瘍マーカー

稲葉 憲之・深沢 一雄・高見澤裕吉…		267
11. 術中診断の要点……………	畑 俊夫…	270

<治療方針の決め方>

12. 手術に踏み切るタイミング……………	紀川 純三…	272
13. 妊娠中の卵巢腫瘍の管理		
古本 博孝・中山 孝善・青野 敏博…		274
14. チョコレート腫瘍の取扱い……………	安達 知子…	277
15. 予防的卵巢摘出の可否……………	桑原 惣隆…	280
16. 若年婦人の卵巢腫瘍		
土岐 尚之・柏村 正道…		283
17. Postmenopausal palpable ovary		
syndrome ……………	菊池 義公…	286

<手術>

18. 基本術式—腫瘍切除, 卵巢摘除,		
付属器摘除……………	榎木 勇…	290

<手術—手術手技のコツ>

19. 巨大腫瘍……………	伊藤 耕造…	293
20. 広間膜内腫瘍……………	川村 泰弘…	296
21. 楔状切除術……………	斎藤 馨…	298
22. 内視鏡手術		

関 賢一・久布白兼行・岩田 嘉行… 302

<フォローアップと予後>

23. 良性からの悪性変化—フォロー		
アップに際しての注意と考え方…	奥田 博之…	306
24. Residual ovary syndrome		
(ovarian remnant syndrome) …	荻野 雅弘…	310
25. 卵巢の部分切除と排卵機能……………	早田 隆…	312

子宮外妊娠—up to date（4）

<子宮外妊娠は増えているか>

1. 子宮外妊娠の動向…	前田 隆義・杉本 修…	348
2. 子宮外妊娠の病因とリスク因子		
齋藤 良治・池田 史郎…		352
3. 子宮外妊娠時の hCG 産生—正		
常妊娠との差異……………	丸尾 猛・望月 真人…	354
4. IVF-ET・GIFT と子宮外妊娠		

塩見 秀明・田中 温・永吉 基

栗田松一郎・田中威づみ・竹本 洋一

鷹野 和哉・高崎 博幸・井手 紀子… 357

5. 内外同時妊娠の増加について

小林 善宗・本田 育子・井上 正人… 360

6. 反復子宮外妊娠の問題点……………

野口 昌良… 362

<診断の New aspect>

7. 問診・内診上の注意……………	岡山 哲也…	364
8. BBT と子宮外妊娠診断 ……………	熊坂 高弘…	366
9. エコーによる子宮外妊娠部の確		
定診断はどこまで可能か—1. 経		
腹法……………	赤松 信雄…	370

10. エコーによる子宮外妊娠部の確		
定診断はどこまで可能か—2. 経		
腔法……………	吉田 幸洋・桑原 慶紀…	372
11. 低単位 hCG 測定の子宮外妊娠		
における効用……………	見尾 保幸…	375

12. 腹腔鏡……………	星合 昊…	378
--------------	-------	-----

13. Arias-Stella 反応の診断的意義…	竹村 正…	381
----------------------------	-------	-----

<鑑別と Follow up のポイント>

14. 急性腹症と子宮外妊娠……………	鈴木 忠…	384
15. 流産……………	関 克義…	386

16. 診断の困難な子宮外妊娠		
荒木 重雄・玉田 太朗…		388

17. 子宮外妊娠誤診のリスク

矢追 良正・生山 博・渡部 秀樹	
三ツ矢和弘・瀬川 裕史・榎本 英夫	
大久保典義・松永 啓伸	392

<特異な子宮外妊娠への対応>

18. 卵巣妊娠	
佐藤 正仁・小倉 一仁・畑 俊夫	394
19. 腹膜妊娠	黒部 来 397
20. 間質部妊娠	棕棒 正昌 400
21. 頸管妊娠	雨宮 章・萩庭 一元 402
<新しい治療法の試み>	
22. 子宮外妊娠破裂時の救急対策	山本 哲三 405
23. MTX 療法の適応と要約	岩下 光利 408
24. プロスタグランディン療法	楠原 浩二 412
25. 保存的手術療法の実際と問題点	
河上 征治・大原 聡	414
26. 腹腔鏡下手術療法	小島 栄吉 417

産科外来検診マニュアル (5)

<妊娠初期>

1. 初診時の検査	
佐川 正・田中 俊誠・藤本征一郎	456
2. 妊娠反応	久保 春海 459
3. 経腔超音波	高柳 眞 462
4. 妊娠週数の推定と分娩予定日の修正	竹村 秀雄 465
5. 風疹抗体価の評価	干場 勉 468
6. HIV 検査とその対応	吉原なみ子 472
7. STD への対応 (妊娠初期における)	猪俣 吉広 476
8. 絨毛診断	鈴森 薫 482
9. 流産の予後診断	吉田 信隆 486
10. 子宮外妊娠	谷 俊郎 488
11. 多胎妊娠	関 守利・竹内 巧 490
田村 仁・伊吹 令人	490
12. 卵巣腫瘍合併妊娠	山中 恵 494
13. 頸管無力症	佐賀 正彦 497

<妊娠中期>

14. 妊娠中期の検診	今中 基晴・萩田 幸雄 500
15. 妊婦貧血	貝原 学 503
16. 胎盤の位置決定	大屋 敦 506
17. 羊水検査	前田 徹 508
18. 血液型不適合	浮田 昌彦 510
19. 切迫早産	
関 博之・竹田 省・木下 勝之	514
20. 前期破水	永井 公洋・池ノ上 克 516
21. 腎機能障害	日高 敦夫 518

22. 糖尿病	濱田 梯二 522
23. 自己免疫疾患	安達 知子 524
24. CIS への対応	和田 順子 530
25. 子宮筋腫合併妊娠	藤井 信吾 532
26. 肥満妊婦	山口 昌俊 535
27. 胎児の発育評価	香川 秀之 538
28. IUGR (胎児発育遅延) への対応	安水 洸彦 541
29. IUFD	
宮崎 豊彦・名取 道也・野澤 志朗	544
30. 胎児徐脈	宇津 正二 546
31. 羊水過多	前田 博敬 549
32. 羊水過少	清水 郁也 552
33. 奇形スクリーニング	今井 史郎 555
<妊娠後期>	
34. 後期の検診	久保 武士 558
35. 頸管の成熟度	平川 舜 561
36. 妊娠中毒症	古橋 信晃 564
37. 前回帝王切開例の検診の手順とその評価・対策	米谷 国男 568
38. CPD の評価ー陣痛発来時とその後の CPD の評価	西島 光茂 570
39. 過期妊娠	雨森 良彦 574
40. 胎児の発育	吉沢 浩志 578
41. 胎動評価	佐藤 郁夫 581
42. 胎児胎盤機能検査	齋藤 裕・盛本 太郎 584
43. 胎児の位置異常	岩崎 寛治 586
44. 胎児の肺成熟	佐川 典正 590
45. 胎児の循環機能	秦 利之・北尾 学 594
46. 胎児の心機能	
松岡 優・福家 義雄・西岡 敦子	598
47. 胎児採血	是澤 光彦 602
48. NST (non stress test)	吉原 一 604
49. CST (contraction stress test)	金岡 毅 608
50. バイオフィジカルプロファイル	武久 徹 610
51. 妊婦のマイナートラブル	伊藤 博之 615

<産褥期>

52. 乳汁分泌	植村 次雄 618
53. 乳頭異常・乳腺炎	杉並 洋 620
54. 子宮復古不全	織田 利光・越野 立夫 624
55. 不正出血	又吉 國雄 626
56. 母児感染	山元 貴雄 629
57. 避妊指導	小田 隆晴 632
58. 産褥期に関連した適応障害 (マタニティブルー) と精神障害	高橋 三郎 635
59. 乳児1か月検診	藤村 正哲 638

外陰の診かた (6)

<構造と生理>

1. 外陰の発生と分化—最近の知見…青野 敏博… 686
2. 局所解剖—外陰皮膚疾患理解の
ために……………斉藤 浩… 690
3. 局所解剖—外陰癌根治手術のた
めに……………工藤 隆一… 692

<先天異常>

4. 出生時における新生児の外陰の
みかた……………島田 信宏… 695
5. 腔閉鎖症の鑑別診断
矢内原 巧・藤川 浩・河合 清文… 698
6. 先天性副腎皮質過形成
久保田俊郎・麻生 武志… 702

7. 精巢性女性化症

鈴木 秋悦・小関みづほ・木村 裕幸
南郷 周児・稲垣 昇… 705

8. 性腺形成不全症……………宮川 勇生… 708

<陰毛の異常>

9. 無毛症……………大川 亮一・森 宏之… 710
10. 多毛 (症) ……………仲野 良介… 712

<疾患のポイントと私の治療法>

11. 皮膚掻痒症……………武田 秀雄… 716
12. カンジダ症……………館野 政也… 718
13. 外陰白癬症……………澤田 俊一… 721
14. ヘルペス……………岩坂 剛… 723
15. 扁平コンジローマ……………淵 勲… 727
16. 急性外陰潰瘍……………松下 光彦… 730
17. Behçet 病……………村瀬 隆之・土橋 一慶… 733
18. 当科のバルトリン腺嚢腫の治療…高橋 久寿… 736
19. 尖圭コンジローマ……………滝沢 憲… 739
20. 萎縮症……………高橋 克幸… 742
21. 外陰白斑症……………柏村 正道… 745
22. 外陰ジストロフィー……………上田 外幸… 748
23. Paget 病……………利部 輝雄… 750
24. 外陰表皮内癌……………山邊 徹… 752
25. 外陰癌—単純外陰切除術……………塚本 直樹… 754
26. 外陰癌—根治手術……………塚本 直樹… 756
27. 外陰癌—筋皮膚弁移植術
武田 佳彦・滝沢 憲… 758
28. 外陰癌—化学療法……………河野 一郎… 761
29. メラノーマ……………磯崎 太一・佐々木 茂… 764
30. 会陰部の裂傷……………進 純郎… 769

ホルモン補充療法: HRT (7)

1. 閉経後障害に対するホルモン補

充療法 (HRT) の必要性……………五十嵐正雄… 804

<HRT の背景>

2. 更年期障害……………郷久 鉦二… 807
3. 女性の動脈硬化症
伊藤 利光・東 賢二・中村 治雄… 810
4. 骨粗鬆症……………赤祖父一知・村上 弘一… 814
5. 性交障害……………川越慎之助… 816
6. 尿失禁……………桑原 慶紀・町田 正弘… 818

<性ホルモンの作用効果>

7. 脂質代謝……………大濱 紘三… 820
8. 骨代謝作用……………太田 博明… 823
9. 中枢作用……………本庄 英雄… 830
10. 末梢循環機能……………井口登美子・長主 真理… 832

<HRT のプロトコール>

11. 結合型エストロゲン……………戸谷 良造… 834
12. エストリオール
山口 斌・草薨 鉄也・玉川 晶子… 838
13. エストロゲンパッチ (エストラ
ジオール経皮吸収剤)
水上 尚典・玉田 太朗… 840

14. 周期的エストロゲン・プロゲス
チン……………水沼 英樹… 842
15. 連続的エストロゲン・プロゲス
チン……………堤 治… 844

<HRT の実際>

16. 卵巣欠落症
牧野田 知・小葉松洋子・大河内俊洋
晴山 仁志・藤本征一郎… 846
17. 更年期障害……………郷久 鉦二… 850
18. 骨粗鬆症の治療……………村上 弘一・赤祖父一知… 854
19. 性交障害……………川越慎之助… 856
20. 尿失禁……………桑原 慶紀・町田 正弘… 858
21. 痴呆……………本庄 英雄… 861

<HRT の副作用>

22. 性器出血……………小辻 文和… 864
23. 肝障害……………鈴木 瞭… 866
24. ホルモン補充療法と子宮体癌の
リスク……………林 玲子・蔵本 博行… 868
25. 乳腺疾患
木村 恒人・山本 和子・浜野 恭一… 870
26. ホルモン補充療法と血栓塞栓症…貝原 学… 873

<HRT の適応と効果>

27. HRT の適応と禁忌……………桑原 惣隆… 876
28. HRT 効果の評価法
赤松 達也・木村 武彦・矢内原 巧… 879
29. 投与前後の検査をどうするか…玉舎 輝彦… 882

■HRT と他剤併用（コラム）■

HRT と漢方……………	小山 嵩夫…	806
HRT と向精神薬……………	中村 元一…	809
HRT とビタミン D ₃ 三宅 侃・谷澤 修・広田 憲二…		812

産婦管理—on call に応える（8）

<入院時>

1. 分娩進行状態の把握と予測……………	兼子 和彦…	916
2. 合併症妊婦の取扱い……………	高木耕一郎…	920
3. 計画分娩の可否……………	小林 充尚・武藤伸二郎…	922
4. CPD の評価……………	松本 譲二…	926
5. ダブルセットアップへの対応……………	雨森 良彦…	928
6. 看護サイドから見た入院時の産婦管理……………	竹内美恵子…	931

<陣痛室>

7. 分娩進行状態の把握と予測……………	久保 武士…	934
8. 誘発と陣痛強化……………	瓦林達比古…	937
9. 人工破膜のタイミング……………	本郷 基弘…	940
10. 無痛分娩の主役としてまたは補助的に投与された薬剤のENNS あるいは NACS による評価の 文献的考察……………	尾島 信夫…	942
11. LDR の実際……………	神津 弘…	945
12. 産科麻酔—硬膜外持続法……………	野田 保人…	950
13. 産科麻酔—吸入・経口麻酔……………	鈴木 健治…	952
14. 看護サイドから見た分娩室での産婦管理……………	赤星 京子…	956

<分娩室>

15. 分娩進行状態の把握と予測……………	山本 哲三…	958
16. 胎児仮死の診断……………	原 量宏…	962
17. 胎児仮死への対応 江尻 孝平・須賀 清博・工藤 尚文…		966
18. 羊水補充療法……………	西島 正博・天野 完…	970
19. 会陰切開のタイミングと方法……………	進 純郎…	972
20. 吸引遂娩術……………	花田 征治…	975
21. 座位分娩のメリットとデメリット 永井 宏…		978
22. クリステル法の実際と限界……………	久 靖男…	982
23. 肩甲難産……………	佐藤 孝道…	984
24. 臍帯巻絡……………	越野 立夫・朝倉 啓文…	987
25. 緊急帝王切決定後の手順……………	佐藤 郁夫…	990
26. 胎盤の娩出……………	北井 啓勝…	994
27. 出血への対応……………	佐賀 正彦・大塚 博光…	996
28. 会陰裂傷の縫合……………	吉沢 浩志…	998

<褥 室>

29. 子宮復古不全への対応……………	荒川 公秀…	1002
30. 乳房管理……………	合阪 幸三…	1004
31. 乳頭異常への対応……………	秦 温信・高橋 弘昌…	1006
32. MRSA ……………	野口 昌良…	1008

治療にてこずる感染症（9）

<クラミジア>

1. 婦人科のクラミジア……………	笠松 高弘…	1036
2. 検査法の選択……………	滝沢 憲…	1040
3. クラミジアと不妊……………	斎藤 滋…	1042
4. 治療と治癒の判定……………	菅生 元康…	1044

<エイズ>

5. HIV のウイルス学 大城由香子・山本 直樹…		1047
6. 日本のエイズ……………	塩川 優一…	1050
7. AIDS の発症と症状……………	小林 隆夫…	1052
8. HIV 感染者の手術、分娩……………	宮澤 豊…	1056
9. 治療の現況と展望……………	南谷 幹夫…	1060

<C型肝炎>

10. C型肝炎とB型肝炎の違い……………	矢野 右人…	1064
11. C型肝炎の病状と予後……………	清沢 研道…	1068
12. C型肝炎の感染経路と診断 林 紀夫・尾下 正秀 房本 英之・鎌田 武信…		1070
13. C型肝炎患者の取扱い 大越 章吾・上村 朝輝…		1074
14. C型肝炎の治療法……………	松嶋 喬…	1076

<MRSA>

15. MRSA の増加と化学療法の 反省……………	加藤 賢朗・川名 尚…	1079
16. MRSA 肺炎……………	丹野 恭夫…	1082
17. MRSA 腸炎……………	石引 久弥・牛島 康榮…	1085
18. MRSA-TSS（トキシックシ ック症候群）……………	中林 正雄・工藤 美樹 高木耕一郎・武田 佳彦…	1088
19. 未熟児の MRSA 敗血症……………	近藤 乾…	1091
20. 院内感染対策……………	宮地 典子…	1094

<難治性症例の経験>

21. バルトリン腺炎……………	関 賢一・木挽 貢慈…	1098
22. PID……………	早川 謙一…	1100
23. 尿路感染症……………	小野寺昭一・清田 浩…	1102
24. 術後感染症……………	井村 睦規・嘉村 敏治…	1105
25. 産褥感染症……………	舟木 憲一…	1108
26. 乳腺炎 木村 恒人・山本 和子・浜野 恭一…		1110

<双胎間輸血症候群>

12. 胎内診断のポイント……………石松 順嗣…1304
13. 胎外診断のポイント……………吉田 啓治…1307
14. 供血児, 受血児……………松尾 重樹・日高 敦夫…1310
15. TTTSの新しい対策—子宮鏡下

シャント血管凝固術

名取 道也・田中 守・野澤 志朗…1314

16. 一児死亡の新しい対策—死胎児
摘除……………進 純郎・荒木 勤…1316

<卵 膜>

17. 卵膜温存帝王切開法(幸帽児帝王切開法: En Caule cesarean section)……………高木耕一郎…1318

18. 絨毛膜下血腫の吸引……………吉田 幸洋…1322
19. 絨毛羊膜炎の診断と局所療法……………千村 哲朗…1326
20. 癌胎児性フィブネクチンと流
早産……………橋本 平嗣・一條 元彦…1328

<羊 水>

21. 羊水分析の適応とタイミング……………安水 洸彦…1330
22. 羊水量と胎児の well-being……………香川 秀之…1334
23. 羊水の補充療法(温生食充填灌
流治療)
石川 薫・堀部 暢人・石塚 隆夫…1336
24. 羊水過多の吸引除去療法
茨 聡・前田 康貴…1340

<臍 帯>

25. 臍帯巻絡の診断と対応
林 公弘・村上 雅義…1342
26. 胎児採血の適応と実際
室月 淳・岡村 州博・矢嶋 聰…1344
27. Amnioinfusion ……武久 徹・嘉本 和恵…1348
28. 胎内輸血の適応と実際……………是澤 光彦…1352

頸癌, 体癌—診療の現況(12)

<疫 学>

1. 子宮がんの動向と将来予測
黒石 哲生・広瀬加緒瑠…1392
2. 子宮頸癌・体癌の若年化……………蔵本 博行…1394

<基 礎>

3. 子宮頸癌と HPV
岩崎 秀昭・加藤 喜市・武田 敏
稲葉 憲之・関谷 宗英・計良 恵治…1396
4. 子宮頸癌・体癌の腫瘍マーカー
久布白兼行・宇田川康博
塚崎 克己・野澤 志朗…1400
5. 子宮体癌の遺伝子診断と遺伝子

治療……………今村 利朗・和気 徳夫…1404

<診 断>

6. 子宮頸部腺癌診断上の問題点……………東岩井 久…1408
7. 子宮頸癌扁平上皮癌の腫瘍体積
測定法
工藤 尚文・佐能 孝・瀬崎 宏之…1410
8. 子宮内膜増殖症とその取扱い
早川清一郎・佐藤 信二・矢嶋 聰…1414
9. 子宮鏡による体癌の頸管進展診
断法……………日浦 昌道…1418
10. 子宮体癌筋層浸潤のダイナミッ
ク MRI
宮崎 康二・山下 康行・岡村 均…1420

11. 子宮体癌の術中細胞診
西谷 巖・高村 郁世…1424
12. 子宮体癌の大動脈周囲リンパ節
転移の術前診断……………永野 忠義・小澤 満…1428

<治 療>

13. CIN の手術療法—適応と実際 ……児玉 省二…1430
14. 子宮頸癌 1a 期の手術療法……………山邊 徹…1432
15. 進行頸癌に対する Neoadjuvant
Chemotherapy ……平林 光司…1434
16. 透析併用動注化学療法による子
宮頸癌の治療……………黒瀬 高明・半藤 保…1436
17. 子宮頸部Ⅲ期癌に対する術前照
射療法……………武内久仁生…1440
18. 画像診断による子宮頸癌治療効
果の判定……………佐々木 寛…1442
19. 子宮癌治療と性機能温存
藤本征一郎・櫻木 範明…1444
20. 子宮体癌の化学療法……………杉森 甫…1448
21. 子宮肉腫に対する化学療法……………荷見 勝彦…1450

<予 後>

22. 子宮頸部腺癌の病理所見と予後……………古本 博孝…1452
23. 頸癌子宮温存療法後の妊娠・分娩
岩成 治・北尾 学…1456
24. 子宮体癌の予後因子……………山本 宝…1458
25. 子宮体癌の新しい FIGO 臨床
期分類における予後の検討
矢島 正純・種村健二郎・千歳 和哉
山田 拓郎・恒松隆一郎・近江 和夫
園田 隆彦…1460
26. 子宮体癌のホルモン受容体と予後
石原 浩・寺川 直樹…1464
27. 子宮肉腫の予後因子
藤井 信吾・土岐 利彦…1466

カラーグラフ 胎盤の生理と病理

- 第13回 横隔膜ヘルニアと奇形症候群……………中山 雅弘… 5(1)
- 第14回 奇形症候群と顔貌異常…中山 雅弘… 123(2)
- 第15回 致死型骨系統疾患
大藪 恵一・中山 雅弘… 233(3)
- 第16回 致死型骨系統疾患(Ⅱ)
大藪 恵一・中山 雅弘… 343(4)
- 第17回 嚢胞性腎疾患
大藪 恵一・中山 雅弘… 451(5)
- 第18回 脳奇形…………中山 雅弘・今井 史郎… 681(6)

カラーグラフ 摘出標本の見方

1. 卵巣漿液性腺癌
薬師寺道明・大蔵 尚文・田中 博志
杉山 徹・西田 敬… 799(7)
2. 卵巣ムチン性腺癌
薬師寺道明・大蔵 尚文・田中 博志
岩永 成晃・杉山 徹・西田 敬… 911(8)
3. 卵巣明細胞腺癌
薬師寺道明・杉山 徹・大蔵 尚文
片岡 明生・田中 博志・岩永 成晃
西田 敬…1031(9)
4. 卵巣類内膜腺癌
薬師寺道明・大蔵 尚文・藤吉 啓造
岩永 成晃・杉山 徹・西田 敬…1151(10)
5. 悪性転化を伴う成熟嚢胞性奇形腫
薬師寺道明・岩永 成晃・片岡 明生
大蔵 尚文・田中 博志・西田 敬…1271(11)
6. 卵巣胚細胞腫瘍—混合型胚細胞腫瘍(卵黄嚢腫瘍)
薬師寺道明・片岡 明生・大蔵 尚文
杉山 徹・岩永 成晃・田中 博志
西田 敬…1387(12)

Current Research

- 産婦人科領域におけるカルシウムイオンの役割……………三宅 侃… 99(1)
- ヒト胎盤における物質輸送能の特性—膜レベルでの解析を中心に……………飯岡 秀晃… 195(2)
- アミン代謝と母体・胎児生化学の接点—ビタミン B₆ 投与によるトリプトファン, チロシン代謝の変化—……………西島 光茂… 421(4)
- ヒト胎児行動学……………小柳 孝司… 643(5)

- 産婦人科領域における遅発性ウイルス感染症—B型肝炎ウイルスからC型肝炎ウイルスへ……………稲葉 憲之… 773(6)
- 妊娠における IGF-I の意義……………岩下 光利… 885(7)
- 子宮癌発生における複数の遺伝子異常
Ⅰ. 子宮頸癌における遺伝子異常……………井上 正樹…1233(10)
- Ⅱ. 子宮体癌における遺伝子解析……………井上 正樹…1355(11)
- 成熟に伴う精子核機能の変化
星 和彦・柳田 薫
片寄 治男・矢沢 浩之…1469(12)

原著

- 妊婦血小板, 赤血球ならびにヒト胎盤絨毛上皮刷子縁膜の脂質成分の検討
飯岡 秀晃・赤田 忍・島本太香子
山田 嘉彦・阪本 義晴・森山 郁子
一條 元彦… 106(1)
- 超音波カラー Doppler 法による正常月経周期における子宮動脈血流動態変化および血中 Prostaglandin E₂, Prostaglandin F_{2α} との関連について
井浦 俊彦・桑原 惣隆・上田由生子
羽根 淳治・丹野 治郎・福岡 秀昭
宝田 明… 201(2)
- 婦人科悪性腫瘍手術症例に対するエリスロポエチン併用自己血貯血と低血圧麻酔
久保田康愛・清水 廣・野原 当
西村 譲・塩川 泰裕・湯浅 晴之… 207(2)
- 生検診断による子宮頸部上皮内癌例の検討
宮川 昇・植田 国昭・村上 章
水谷 勝美・綾部 琢哉・大塚伊佐夫
島袋 剛二… 315(3)
- 高齢子宮頸癌患者の実態とその治療成績
山下 幸紀・石谷 敬之・橋本 昌樹
石郷岡哲郎・和田信一郎・服部広太郎
石崎 善昭・兼元 敏隆… 427(4)
- 閉経後の肥満婦人における脂質代謝の臨床的検討—Dual energy X-ray absorptiometry

による体組成分析を用いて—
 後山 尚久・杉本 修… 657(5)
 周産期におけるヒト肝細胞増殖
 因子(hHGF)の動態—母乳
 中濃度—
 飯岡 秀晃・赤田 忍・島本太香子
 山田 嘉彦・阪本 義晴・森山 郁子
 一條 元彦… 662(5)
 婦人科悪性腫瘍における新しい
 腫瘍マーカー Cytokeratin 19
 の臨床的有用性に関する研究…根岸 能之… 781(6)
 ヒト胎盤絨毛組織培養上清の血
 小板凝集阻止活性の研究—
 PAF ならびに STA₂ 惹起血
 小板凝集に与える影響
 飯岡 秀晃・赤田 忍・島本太香子
 山田 嘉彦・阪本 義晴・森山 郁子
 一條 元彦… 897(7)
 品胎妊娠11例の検討
 泉 章夫・水上 尚典・出居 貞義
 玉田 太朗・本間 洋子…1011(8)
 子宮体癌の予後 因子と新・旧
 FIGO 進行期分類
 板持 広明・金森 康展・石原 浩
 皆川 幸久・紀川 純三・寺川 直樹…1015(8)
 子宮頸癌における c-myc 遺伝
 子と HPV16 型の関連性の検
 討……………谷本 博利・永井 宣隆
 太田さなえ・大濱 紘三…1129(9)
 妊婦好中球の血小板凝集阻止活性
 飯岡 秀晃・赤田 忍・島本太香子
 山田 嘉彦・阪本 義晴・吉田 剛祥
 一條 元彦…1241(10)
 子宮頸部異形成に対するレーザ
 —蒸散術の応用
 嶋本 富博・神尊 敏彦
 濱田 政雄・立山 浩道…1245(10)
 母乳分泌に影響を及ぼす産科学
 的諸因子の検討
 合阪 幸三・金田 幸枝・都築 浩雄
 野島美知夫・鳥谷 葉子・為近 慎司
 國保健太郎・斉藤 英樹・吉田 浩介…1363(11)
 胎児の排尿周期に関する考察
 宮村 庸剛・増崎 英明・山邊 徹…1479(12)

症 例

出生前診断した先天性骨形成不
 全症の2例
 釜付 弘志・伊藤 誠・宮城美香子
 石川 洋・後藤真千子・宇田 典弘
 保條 朝郎・山田 祥子・藤掛 守彦… 110(1)
 内膜癌を合併した子宮奇形
 長谷川直子・篠崎 純一
 山本 真一・萬羽 進… 211(2)
 悪性高熱症の1例
 林 博章・森 和郷・瀬戸 俊之
 高橋 長雄・水沼 正弘・武田 智幸
 大林 良… 215(2)
 死産後、昏睡に陥った糖尿病性
 ケトアシドーシスの1例
 斉藤 正博・高田 真一・高木 章美
 関 博之・竹田 省・木下 勝之… 219(2)
 月経時使用したタンポン挿入器
 により子宮腔部に切創を生じ
 た1例……………星野 広利… 321(3)
 妊娠後期に発症し高ナトリウム
 血症を伴った一過性尿崩症の
 1例
 小武海成之・山内 潤・伊藤 仁彦
 西野るり子・北井 啓勝・青木 淳一
 金子 宜淳… 433(4)
 Peplomycin による肺線維症を
 合併した卵巣癌の1症例
 沖津 修・乾 泰延・別宮 史朗
 常松 建夫・西岡 真輔・青野 敏博… 665(5)
 子宮を温存し得た頸管妊娠の3例
 斉藤 正博・関 博之・飯野 好明
 高田 真一・石原 理・竹田 省
 木下 勝之… 787(6)
 NAC としての動注療法が有効
 であった子宮頸部 clear cell
 adenocarcinoma の1例
 藤原葉一郎・藤田 誠司・伊藤 良治…1019(8)
 妊娠性葉酸欠乏性巨赤芽球性貧
 血の1例
 後藤真千子・伊藤 誠・石川 洋
 千原 啓・宇田 典弘・保條 朝郎
 高田 亨・近藤 千華・釜付 弘志…1135(9)
 Neoadjuvant chemotherapy が
 著効を示した外性子宮内膜症
 病変から発生した原発性腔腺

癌	大野佳代子・長主 真理・村井加奈子
林 博章・森 和郷・瀬戸 俊之	武田 佳彦… 329(3)
野呂 崇・佐藤賢一郎・藤井 美穂	閉経後および術後不定愁訴症候
大西 登…1249(10)	群へのホルモン補充療法の臨
超音波断層法で典型的な子宮腔	床成績—更年期・閉経期外来
留血腫像がみられた処女膜閉	での過去6年間の検討—
鎖症の1例	後山 尚久・坪倉 省吾
竹内 薫・片桐千恵子・笠木 正明	岡本 吉明・杉本 修… 437(4)
渡辺 淳子・堀 立明…1371(11)	妊婦の末梢神経障害に対するビ
子宮転移をきたした膀胱憩室腫瘍	タミン B ₁₂ (メチコパール®)
日高 隆雄・伏木 弘・藤村 正樹	投与の有用性の検討
塩崎 有宏・泉 陸一…1375(11)	石松 順嗣・吉松喜代隆・濱田 悌二
腹式子宮全摘術後残存卵巣が後	天ヶ瀬紀昭・有松 直・小田 高明
腹膜膿瘍を形成した1症例	河野 勝一・綱脇 現・夏秋 洋一
寺川 耕市・小畑 利之	稗田 義雄…1257(10)
福本 学・西山 泰由…1485(12)	
妊娠中期における高位破水後に	昨日の患者
rescal され長期管理し得た2	産褥子宮内反症に直面して
症例について—羊膜腔内色素	黒島 正子・伊藤 仁彦… 34(1)
注入法 (PSP 法) を用いて—	性教育? 生命教育? ……大村 剛… 58(1)
岸田 達朗・根岸 広明・奥山 和彦	無口は禍いのもと……伊藤 裕… 132(2)
佐川 正・牧野田 知・藤本征一郎…1489(12)	患者さんから学ぶ……清川 尚… 185(2)
	若年性交未経験者の子宮体癌……館野 政也… 257(3)
私の治療	立派な体格の女性, 10数回の
硝酸銀棒法によるバルトリン腺	AIH 不成功—そして11年目
囊腫の被膜分娩(Kapselgeburt)	の妊娠……沢田 喜彰… 289(3)
森 義三郎・森 明人… 671(5)	STD. 兄の生命を奪う? ……長澤 一磨… 353(4)
	転移癌か重複癌か判別困難な子
私の工夫	宮体癌の1例……竹村 正… 383(4)
腹腔鏡手術における超音波メス	内外同時妊娠……荒木 重雄… 390(4)
(ハーモニックスカルペル®)	災害は忘れた頃に……山本 哲三… 407(4)
の使用経験	卵巣過剰刺激症候群……岩下 光利… 410(4)
藤本 泰子・大野 洋介・田中 一範	帝王切開後の外陰血腫……館野 政也… 416(4)
細川 健一・岡田 弘二…1141(9)	尿中 E ₃ 低下によって発見され
	た妊娠性尿崩症……中井祐一郎… 502(5)
薬の臨床	羊水過多の正体……清水 郁也… 554(5)
D&C におけるケタミン麻酔の	中絶の相手が夫に非ず……小田 隆晴… 634(5)
覚醒と副作用に関する検討	自業自得? ……岩坂 剛… 725(6)
岸 東彦・立花 聡司・土屋 吉弘	帝切率の増加は「悪」か? ……合阪 幸三… 936(8)
大戸 寛美・寺師 恵子・佐藤 孝	船頭多くして船山に上る……山本 哲三… 960(8)
上妻 志郎・箕浦 茂樹・岡田 一敏	待て! (Beobachten) ……高杉 信義…1113(9)
涌澤 玲児… 323(3)	忘れることができない症例……宮崎 康二…1438(12)
閉経婦人の骨粗鬆症におけるサ	生命の燈……矢島 正純…1462(12)
ケカルシトニンの薬効と骨代	
謝の評価	厚生省だより
舟山 幸・角田 新一・井口登美子	1991 (平成3) 年優生保護統計

報告の概要……………瀧村 佳代…	85(1)
老人訪問看護制度……………中野 恵	175(2)
厚生省における思春期への対応…渡辺 真俊…	261(3)
地域保健の総合的な見直しにつ いて……………井上 裕司…	475(5)

Coffee Break

雑 感……………見尾 保幸…	377(4)
子宮外妊娠診断の今昔……………星合 昊…	380(4)
卵巣癌との出会い……………黒部 来…	399(4)
ART 技術に基準の設定を……………久保 春海…	481(5)
出生前診断……………鈴木 薫…	485(5)
液状保存精子の体外受精胚移植 とテレビ……………関 守利…	493(5)
神経性の尿閉の2症例……………山中 恵…	496(5)
『人口過密』に想う……………佐賀 正彦…	499(5)
妊婦左側臥位の勧め……………日高 敦夫…	521(5)
バブルと出生数の減少……………藤井 信吾…	534(5)
妊娠中の旅行……………香川 秀之…	540(5)
妊娠中・後期に発見された胎児 先天異常……………安水 洸彦…	543(5)
外国籍女性……………今井 史郎…	557(5)
医学生と問診……………平川 舜…	563(5)
老年者意識……………古橋 信晃…	566(5)
ヨーロッパと私……………佐藤 郁夫…	583(5)
スポーツと男女差……………伊藤 博之…	617(5)
ふたごは2人で1人?……………又吉 國雄…	628(5)
超未熟児と環境条件……………藤村 正哲…	641(5)
急性外陰潰瘍……………淵 勲…	729(6)
わたしの診察室……………高橋 久寿…	738(6)
Informed Consent に例外も……………高橋 克幸…	744(6)
婦人科腫瘍専門医……………塚本 直樹…	755(6)
若き日へのノスタルジア……………進 純郎…	771(6)
嫁して3年、子なきは去れ……………柴原 浩章…	965(8)
土台・基礎の重要性……………江尻 孝平…	968(8)
旅と人生……………進 純郎…	974(8)
C型肝炎ウイルスの感染……………松嶋 喬…	1078(9)
森林浴とフィトンチッド……………工藤 美樹…	1293(11)
胎盤と高山病……………吉田 啓治…	1309(11)
タバコと PVL(?)……………松尾 重樹…	1313(11)

Obstetric News (武久 徹)

VBAC (帝王切開後経腔分娩) 前の X-ray pelvimetry は有効か? ……………	22(1)
双胎第1児と第2児分娩の間隔は短縮させる べきか? ……………	67(1)

超音波による胎児耳介測定の意義～Down 症 候群児診断時の有用性……………	140(2)
絨毛採取法 (CVS) と四肢欠損 (limb reduc- tion) ……………	301(3)
Doppler～胎児管理試験における有用性 ……………	309(3)
経皮的臍帯血採取 (PUBS)～7,462 回の適応 および安全性……………	391(4)
骨盤位分娩の調査～経腔分娩の危険度……………	529(5)
妊娠中の低用量アスピリン投与の有効性と副 作用～胎盤早期剝離が有意に増加する……………	715(6)
分娩前胎児死亡率は10年前の 1/4～南カリフ ォルニア大学における10年間の分娩前胎児 管理試験の検討……………	772(6)
妊娠中のルチーン超音波診断の問題点……………	780(6)
分娩後の臍帯血ガス分析を全例にすべきか? ……	813(7)
妊婦全員に対する GBS (B 群レンサ球菌: GBS) ルチーン検査は必要か? ……………	894(7)
分娩中の胎児頭皮血 pH 測定は必要か? ……………	919(8)
聴診法による分娩管理～最近の論文から……………	961(8)
陣痛抑制剤は正しく使われているか? ……………	1010(8)
助産婦、看護婦は児頭頭皮血採取や人工羊水 注入法を行えるか? ……………	1097(9)
サイトメガロウイルス (CMV) 感染症と妊娠……………	1126(9)
妊娠35週は子宮収縮抑制剤使用の適応か? ……………	1127(9)
Vaginal birth after cesarean section (VBAC) と合併症～最近の研究から……………	1229(10)
前回帝王切開後の経腔分娩 (VBAC) と子宮 破裂～分娩進行停止とオキシトシン使用は 要注意……………	1254(10)
新生児蘇生～米国医師会雑誌から……………	1339(11)
AIDS と妊娠……………	1407(12)
産科的超音波使用と医療訴訟……………	1413(12)

Current Practice (矢沢珪二郎)

しゃがみ位置は骨盤計測にどのような影響を あたえるか? ……………	15(1)
Birth Chair は有効か? ……………	40(1)
子宮頸部生検はどのくらい正確か? ……………	70(1)
正常体温とは? ……………	143(2)
強力なタバコ ロビー……………	148(2)
テキサス州では卵巣嚢腫も巨大である……………	158(2)
Bad Apple Theory ……………	164(2)
間接喫煙 (secondhand smoking)……………	218(2)
骨盤位と帝王切開……………	248(3)
Living Will ……………	251(3)
小児科医からのアドバイス: 妊婦全員に B 群	

レンサ球菌のスクリーニングを……………	314(3)	未熟児の臍帯血ガス値……………	1169(10)
Cholesterol programs の効果を確認……………	320(3)	分娩第2期の長さとお母様および新生児罹患率…	1180(10)
アメリカ人は本当に働くのが嫌なのか?……………	505(5)	産科的硬膜外麻酔の長期的問題……………	1200(10)
妊婦の食事と子どものアトピー……………	622(5)	過期妊娠は陣痛誘発すべきか?……………	1203(10)
癌の早期所見としての深部静脈血栓症……………	689(6)	hMG 刺激による周期に黄体ホルモンによる	
衰れたアメリカの医師たち……………	697(6)	支持は有効か?……………	1221(10)
頭位と骨盤位における血液ガス値の差異……………	714(6)	多胎妊娠にみられる胎児の自然減数……………	1290(11)
分娩監視装置による FHR 波形の解釈……………	722(6)	IVF による多胎妊娠の結果……………	1346(11)
妊娠中の Lithium の使用……………	735(6)	小児期にうけた腹部放射線療法の影響……………	1369(11)
早期破水とペニシリンの予防的使用……………	768(6)	IVF 妊娠にみる受胎および出産率……………	1398(12)
胎便吸引症候群, Meconium aspiration		術後早期開始の化学療法の術創治癒にたいす	
syndrome (MAS)……………	829(7)	る影響……………	1429(12)
アメリカ訴訟事情……………	863(7)		
How small is too small, how early is too			
early?……………	875(7)		
Pathologic Fetal Acidemia (PFA)……………	893(7)		
ストレスと不妊症……………	939(8)		
分娩時の胃内容……………	944(8)		
子宮内膜癌の stage 決定のための傍大動脈リ			
ンパ節切除術は罹患率や死亡率を増加させ			
るか?……………	954(8)		
過期妊娠と antepartum surveillance ……	986(8)		
脳障害の原因は?……………	1000(8)		
妊婦血清でダウン症候群の胎児診断を……………	1046(9)		
初産婦の妊娠と出産に起因するストレス性尿			
失禁の症状……………	1049(9)		
婦人科外来における乳房疾患の診断と管理……………	1059(9)		
高度羊水過少症に経腹的羊水注入法の試み……………	1084(9)		
Borderline Serous Ovarian Tumor……………	1093(9)		
26週以前の早期破水……………	1121(9)		
MAS ……	1133(9)		
IUGR と胎盤 ……	1139(9)		
		Q and A	
		座位分娩のメリット……………永井 宏…	115(1)
		前回帝王切開例の分娩様式につ	
		いて一実地医家としての対	
		応……………東條龍太郎…	116(1)
		子宮頸部円錐切除後の妊娠・分	
		娩の管理について……………安水 洗彦…	116(1)
		早産と局所感染……………千村 哲朗…	225(2)
		産科外来におけるエイズ検査の	
		進め方……………相良 祐輔…	226(2)
		難治性不妊症例の腹腔内人工授	
		精法の有用性について……………藏本 武志…	335(3)
		IVF-ET 不成功後の妊娠……………林 直樹…	336(3)
		Percoll クッション法について…兼子 智…	441(4)
		術後癒着防止法……………長田 尚夫…	441(4)
		前期破水での抗菌剤の選択基準…松田 静治…	1023(8)
		子宮筋腫に対するプセリニン投	
		与の適応?……………堂地 勉…	1023(8)

*

*